

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和6年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間 (4月～3月))

施設名	秋川ふれあいセンター	指定管理者	社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会
指定期間	令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで	担当課	福祉総務課

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	334	334	100.0%	
	延べ利用者数 (人)	31,000	25,433	82.0%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	-	-	-%
		自主事業 (回)	-	-	-%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	25,410,000	25,410,000	100.0%
		利用料金収入(売上) (円)	1,315,000	1,373,950	104.5%
		自主事業収入 (円)	-	-	-%
		その他の収入 (円)	65,000	57,132	87.9%
	収入計 (円) …①		26,790,000	26,841,082	100.2%
	支出	人件費 (円)	-	-	-%
		維持管理経費 (円)	26,790,000	25,387,952	94.8%
		自主事業関係経費 (円)	-	-	-%
		その他の支出 (円)	-	-	-%
	支出計 (円) …②		26,790,000	25,387,952	94.8%
	収支 (①-②) (円) …③		0	1,453,130	-%
	諸経費 (本社運営費など) …④		-	-	-%
総収支 (③-④) (円)		0	1,453,130	-%	

### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p><b>【開館日数・利用者数について】</b>                  開館日数については、年間計画のとおり開館することができた。                  利用者数については、令和6年7月にホームページをリニューアルし、秋川ふれあいセンターのPRを強化したこと等により、前年度と比較して約3,800人の増加となった。また、ふれあいホールにおいては企業研修や一般団体の講演会、会議室においては陶芸サークルやダンス練習など、新たな団体に施設を利用していただき、PRによる一定の効果が見られた。</p>	<p><b>【事業の実施状況について】</b>                  ホームページをリニューアルし、施設情報を掲載するなどの利用促進を図った。また、施設貸出時のアンケート配布やふれあい広場の意見箱設置等により、利用者及び来館者からの意見やニーズを把握し、より良いサービス提供に反映できるよう努めた。                  施設の維持管理として、定期的な点検・清掃を行い、バス停通路付近のフットライト修繕や道路にせり出している桜の木の剪定等を行い、利用者の安全確保を図った。夏季には、ふれあい広場の天井部に寒冷紗を設置し、空調効率を上げる取組を行っている。                  施設の環境整備として、ボランティアの活動によりグリーンカーテンを設置したほか、花壇植込み</p>	<p><b>【収支状況について】</b>                  収入については、利用者数の増加に伴い、利用料収入が前年度比約300千円増加し、年間計画比で104.5%となった。                  支出については、光熱水費の削減や消耗品等の節約、敷地内の除草作業を職員で行うなどの効果的な支出管理に取り組み、前年度比約563千円の維持管理経費の削減となった。                  全体の収支が前年度と変わりプラスに転じたことで、来年度以降修繕費等にも好影響を与えられると考えている。</p>
--	---	---

	の除草やチューリップ球根の植替え、雑草の除去等を行い、施設の美化及び劣化防止に努めた。	
所管課の評価（指摘事項）		
【開館日数・利用者数について】 利用者数が前年度比 3,827 人増加し、過去 5 年間で最も多い利用者数となりました。一方で目標としている年間計画の利用者数に対しては 82% となっていることから、引き続き、利用者数増加に努めてください。	【事業の実施状況について】 ホームページをリニューアルし、施設情報や利用案内などの情報が伝わりやすく改善されました。今後もホームページ等を通じた情報発信を強化するとともに、利用者サービス向上に向けた施設の美化や維持管理に取り組んでください。	【収支状況について】 利用料金収入の増加及び維持管理経費の削減により収支は黒字化しており、適切な財政状況となっています。引き続き、安定した収支状況を維持するとともに、次年度繰越金を活用した施設修繕等に取り組み、利用者サービス向上につなげてください。

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	(市) 情報公開事務の手引	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	1 人 人員配置計画、実地、出勤簿	1 人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	1 回/年 研修マニュアル	実施回数 1 回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	1 人 人員配置計画	1 人 適正・要改善	適正・要改善

	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

### 3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>ホームページをリニューアルしたことに伴い、新たな利用団体の獲得と利用者数の増加につながった。施設的环境整備では、ボランティアの協力による植栽や施設整備を定期的実施し、職員による草刈り等の環境美化に取り組んだ。また、施設内の桜の枝を剪定し、歩行者の安全確保に努めた。設備改修が必要な箇所はおおむね改善されており、防火設備や消防設備についても法定点検で指摘された事項は改善されている。</p> <p>今年度は、利用料収入の増加と経費削減により収支は黒字となった。次年度への繰越金については、施設修繕費用として活用する。</p>
所管課による所見（指摘事項など）
<p>ホームページをリニューアルし、情報発信の強化に取り組むとともに、利用者数の増加が図られた点が評価できます。今後も定期的に利用をしている団体の継続利用を維持するとともに、新たな利用ニーズの掘り起こしに取り組み、さらなる利用者数の増加に努めてください。</p> <p>収支状況については、利用料金収入の増加及び維持管理経費の削減に取り組む、前年度の赤字から今年度は黒字となり、改善が図られました。今後も安定した収支状況を維持するとともに、今年度発生した次年度繰越金を適切に活用し、設備改修などのサービス向上につながる取組が期待できます。</p> <p>施設の老朽化により不具合が発生する事例がありましたので、日頃の点検や迅速な修繕等の施設管理業務を適切に行い、利用者へ快適な環境が提供されるよう取り組んでください。</p>